

稚内市地球温暖化対策実行計画
(事務事業編・区域施策編)

令和3年度 実施状況報告書



環境都市わっかない

稚内市地球温暖化対策計画（区域施策編）※前計画（平成25年3月策定）

◆計画目標

2020年（令和2年）度において、1990年（平成2年）度比で二酸化炭素排出量を25%削減。（目標二酸化炭素排出量：456,730 [t-CO₂]、目標二酸化炭素削減量：152,243 [t-CO₂]

※補足：2022年4月に環境省が公表値を遡及修正したことにより、計画策定時から値が変更となっている。

- ・1990年（基準年度）の二酸化炭素総排出量 計画時 509,552[t-CO₂] → 遡及修正後 608,973[t-CO₂]
- ・2020年（目標年度）の二酸化炭素総排出量 計画時 382,164[t-CO₂] → 遡及修正後 456,730[t-CO₂]

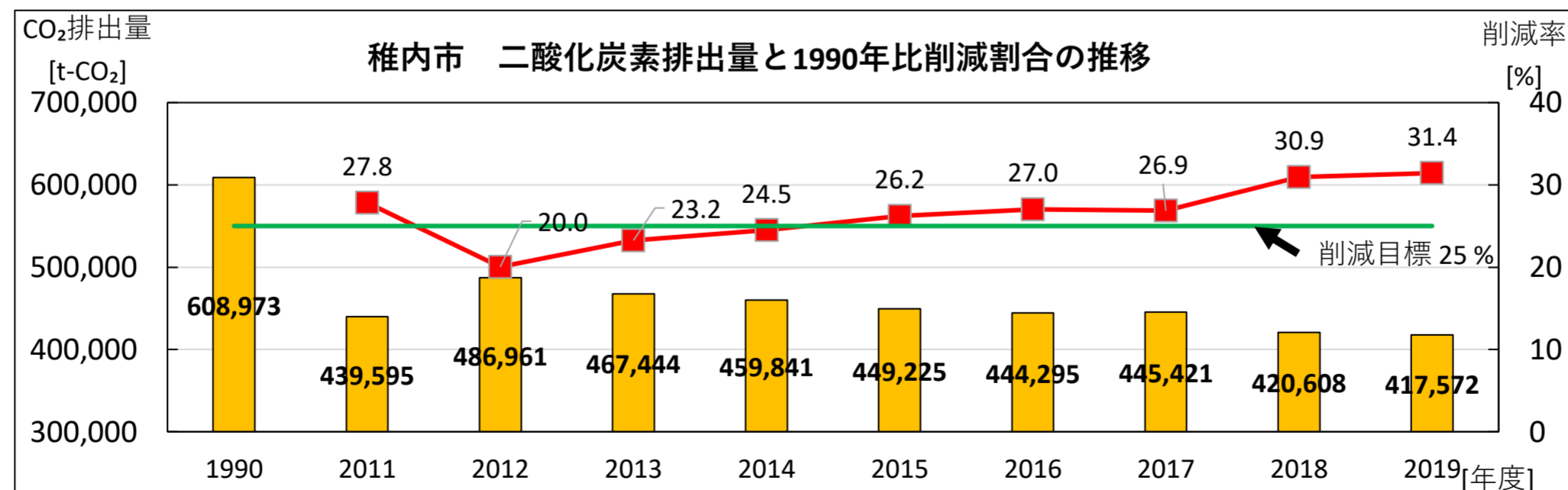
◆稚内市 地球温暖化対策実行計画策定以降 部門別の二酸化炭素排出量の推移

※環境省の遡及修正後(2022年03月)の公表値でデータは2年遅れで公表

年度	製造業	建設業 鉱業	農林 水産業	産業部門 小計	業務	家庭	民生部門 小計	旅客 自動車	貨物 自動車	鉄道	船舶	運輸部門 小計	一般 廃棄物	排出量 合計 (t-CO ₂)	前年度 比 (%)	基準年 度比 (%)
1990	246,430	18,610	106,356	371,396	50,387	80,411	130,798	35,063	36,349	2,971	29,977	104,360	2,419	608,973	-	-
2011	123,063	6,244	22,063	151,370	76,148	94,419	170,567	39,876	30,299	2,661	44,822	117,658	0	439,595	-	-27.8
2012	140,879	7,034	22,261	170,175	94,576	104,368	198,944	39,555	30,263	2,861	45,165	117,843	0	486,961	10.8	-20.0
2013	138,604	5,814	19,658	164,076	87,958	100,754	188,712	38,082	30,507	2,881	43,185	114,655	0	467,444	-4.0	-23.2
2014	127,395	6,098	18,708	152,201	88,939	106,072	195,012	36,071	30,500	2,733	43,325	112,629	0	459,841	-1.6	-24.5
2015	132,039	5,847	19,692	157,579	86,055	96,526	182,581	35,445	30,107	2,629	40,886	109,066	0	449,225	-2.3	-26.2
2016	135,909	5,515	21,176	162,601	73,782	97,070	170,852	34,754	32,719	2,515	40,854	110,841	0	444,295	-1.1	-27.0
2017	142,878	5,636	19,116	167,630	73,981	94,260	168,241	34,177	32,569	2,389	40,415	109,550	0	445,421	0.3	-26.9
2018	127,308	5,246	17,536	150,090	74,346	85,687	160,032	33,239	32,943	2,184	42,119	110,485	0	420,608	-5.6	-30.9
2019	137,491	4,868	17,615	159,974	66,695	86,309	153,004	32,089	29,682	2,086	40,737	104,594	0	417,572	-6.3	-31.4

※環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）支援サイト参照

●推移のグラフ



稚内市地球温暖化対策計画（区域施策編）※現計画（令和3年3月策定）

◆計画目標

2030年（令和12年）度において、2013年（平成25年）度比で二酸化炭素排出量を26%以上削減。
 （基準年二酸化炭素排出量：474,000 [t-CO₂]、目標二酸化炭素排出量：350,000 [t-CO₂]、目標二酸化炭素削減量：124,000 [t-CO₂]以上）

◆稚内市 地球温暖化対策実行計画策定以降 部門別の二酸化炭素排出量（参考）

※環境省の遡及修正後(2022年03月)の公表値でデータは2年遅れで公表

計画期間の排出量が公表前であるため下表は参考値。

年度	製造業	建設業 鉱業	農林 水産業	産業部門 小計	業務	家庭	民生部門 小計	旅客 自動車	貨物 自動車	鉄道	船舶	運輸部門 小計	一般 廃棄物	排出量 合計 (t-CO ₂)	基準年 度比 (%)
2013	138,604	5,814	19,658	164,076	87,958	100,754	188,712	38,082	30,507	2,881	43,185	114,655	0	467,444	-
2019	137,491	4,868	17,615	159,974	66,695	86,309	153,004	32,089	29,682	2,086	40,737	104,594	0	417,572	-10.7

※環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）支援サイト参照

◆各部門の算出方法

部 門		算 出 方 法	部 門		算 出 方 法
産業部門	製造業	北海道で製造した製品1円あたりの排出量 × 稚内市の出荷金額	運輸部門	旅客自動車	全国の旅客自動車1台あたりの排出量 × 稚内市の旅客自動車保有数
	建設・鉱業	北海道で建設・鉱業に従事する1人あたりの排出量 × 稚内市の建設・鉱業の従業者数		貨物自動車	全国の貨物自動車1台あたりの排出量 × 稚内市の貨物自動車保有数
	農林水産業	北海道で農林水産業に従事する1人あたりの排出量 × 稚内市の農林水産業の従業者数		鉄道	全国の鉄道が運行時に発生する排出量／国内人口 × 稚内市の人口
民生部門	業務	北海道でサービス業に従事する1人あたりの排出量 × 稚内市のサービス業の従業者数	船舶	全国の港に入港する内航船舶1隻あたりの排出量 × 稚内市に入港する内航船舶数	
	家庭	北海道の1世帯あたりの排出量 × 稚内市の世帯数			

◆ 稚内市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】の対象施設 二酸化炭素排出量

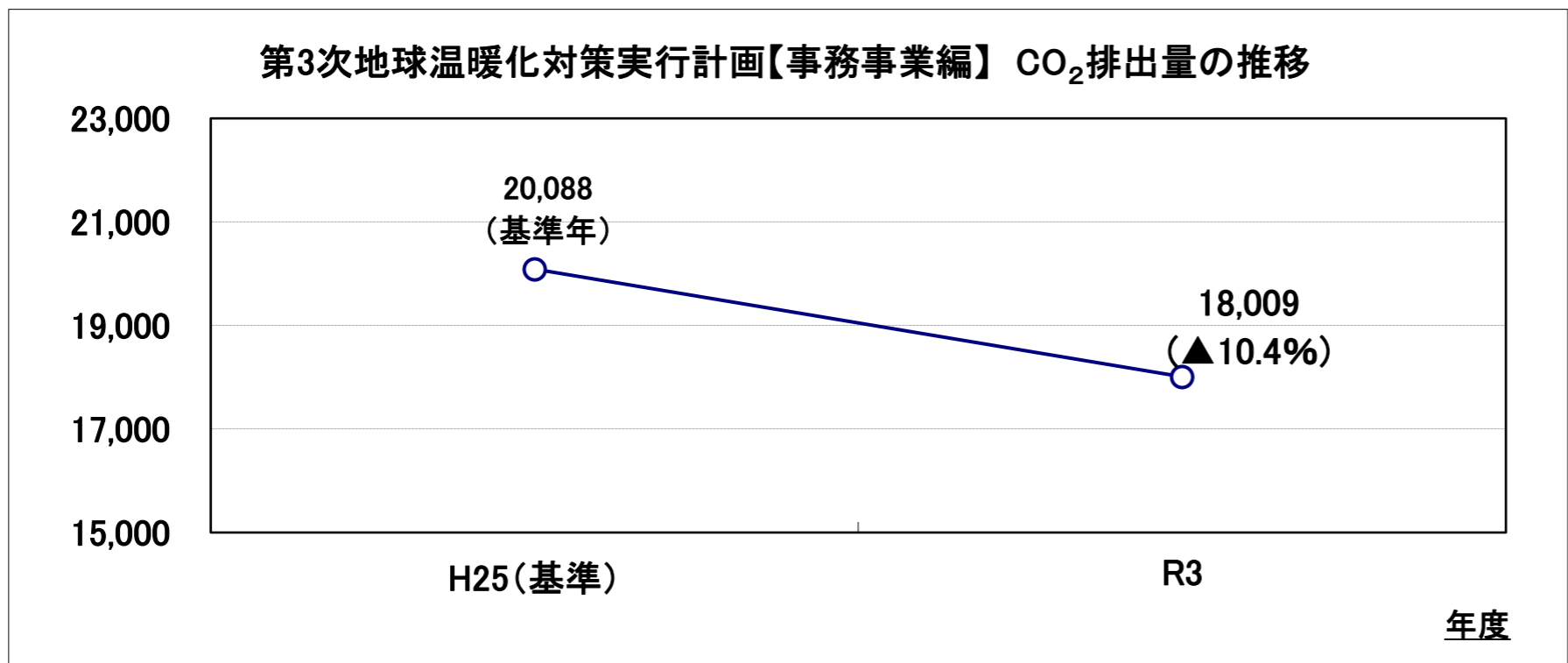
■ 計画目標

2030年（令和12年）度において、2013年（平成25年）度比で二酸化炭素排出量を40%削減
 基準年度二酸化炭素排出量 20,088（t-CO₂）、目標年度二酸化炭素排出量 12,052（t-CO₂）
 目標二酸化炭素削減量 8,036（t-CO₂）

年度	H25（基準）	R3
CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]	20,088	18,009
削減率(%)		▲ 10.4

令和3年度 基準年度比のCO₂削減量（t-CO₂）

2,079



◆ 施設分類別の基準年(平成25年度)との排出量比較

【エネルギー使用量、CO₂排出量】

施設分類 (大分類)	灯油(L)		A重油(L)		LPG(kg)		軽油(L)		ガソリン(L)		電気(kWh)		CO ₂ 排出量合計	
	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度
スポーツ・レクリエーション系施設														
使用量	66,859	86,698	287,843	298,094	8,333	259.0	9,749	6,823	4,196	2,417	2,153,202	2,017,411		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	166,479	215,878	780,055	807,835	24,999	777	25,152	17,603	9,735	5,607	1,481,403	1,212,464	2,487,823	2,260,165
増減率(%)		29.7		3.6		▲ 96.9		▲ 30		▲ 42.4		▲ 18.2		▲ 9.2
医療施設														
使用量	41,096	42,292	175,850	230,460	7,202	5,938	0	738	0	1,316	4,056,624	4,245,169		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	102,329	105,307	476,554	624,547	21,606	17,814	0	1,904	0	3,053	2,790,957	2,551,347	3,391,446	3,303,971
増減率(%)		2.9		31.1		▲ 17.6		—		—		▲ 8.6		▲ 2.6
学校教育系施設														
使用量	449,410	366,850	247,322	220,607	6,084	1,469	180	0	1,900	2,465	1,537,993	1,423,390		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	1,119,031	913,457	670,243	597,845	18,252	4,407	464	0	4,408	5,719	1,058,139	855,457	2,870,537	2,376,885
増減率(%)		▲ 18.4		▲ 10.8		▲ 75.9		▲ 100		29.7		▲ 19.2		▲ 17.2
供給処理施設														
使用量	50,506	75,889	257,649	391	12.3	354.0	1,817	30,741	900	8,264.0	3,553,457	4,064,597		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	125,760	188,964	698,229	1,060	37	1,062	4,688	79,312	2,088	19,172	2,444,778	2,442,823	3,275,580	2,732,392
増減率(%)		50.3		▲ 99.9		2,778.1		1592		818.2		▲ 0.1		▲ 16.6
行政系施設														
使用量	114,261	100,482	1,106,000	1,148,000	1,009	1,159.0	0	8,943	0	7,511	955,808	823,833		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	284,510	250,200	2,997,260	3,111,080	3,027	3,477	0	23,073	0	17,426	657,596	495,124	3,942,393	3,900,379
増減率(%)		▲ 12.1		3.8		14.9		—		—		▲ 24.7		▲ 1.1
産業系施設														
使用量	16,992	15,829	19,700	14,700	92.1	240.0	65,995	53,516	630	331	248,228	285,893		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	42,310	39,414	53,387	39,837	276	720	170,267	138,071	1,462	768	170,781	171,822	438,483	390,632
増減率(%)		▲ 6.8		▲ 25.4		160.6		▲ 19		▲ 47.5		0.6		▲ 10.9

施設名	灯油(L)		A重油(L)		LPG(kg)		軽油(L)		ガソリン(L)		電気(kWh)		CO ₂ 排出量合計	
	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度	H25年度	R3年度
子育て支援施設														
使用量	31,460	28,487	0	0	1,950	1,669	0	0	50	151	83,200	89,919		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	78,335	70,933	0	0	5,850	5,007	0	0	116	350	57,242	54,041	141,543	130,331
増減率(%)		▲ 9.5		—		▲ 14.4		—		202.0		▲ 5.6		▲ 7.9
市民文化系施設														
使用量	25,123	24,574.0	0	0	1,628.4	602	0	0	0	0	466,947	394,706		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	62,556	61,189	0	0	4,885	1,806	0	0	0	0	321,260	237,218	388,701	300,214
増減率(%)		▲ 2.2		—		▲ 63.0		—		—		▲ 26.2		▲ 22.8
社会教育系施設														
使用量	19,930	19,323	47,600	30,860	148	57	60	366	390	154	549,841	431,113		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	49,626	48,114	128,996	83,631	444	171	155	944	905	357	378,291	259,099	558,416	392,316
増減率(%)		▲ 3.1		▲ 35.2		▲ 61.5		510.0		▲ 60.5		▲ 31.5		▲ 29.7
保健福祉施設														
使用量	20,090	15,210	68,300	71,430	103	108	0	0	0	0	222,323	224,334		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	50,024	37,873	185,093	193,575	309	324	0	0	0	0	152,958	134,825	388,384	366,597
増減率(%)		▲ 24.3		4.6		4.9		—		—		▲ 11.9		▲ 5.6
その他施設														
使用量	67,893	47,518.0	384,000	372,000	439.2	223.0	30	0	30	0	999,043	882,581		
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	169,054	118,320	1,040,640	1,008,120	1,318	669	77	0	70	0	687,342	530,431	1,898,500	1,657,540
増減率(%)		▲ 30.0		▲ 3.1		▲ 49.2		▲ 100.0		▲ 100.0		▲ 22.8		13.0
公用車利用分														
使用量							43,569.0	28,946.0	83,650.0	52,927.0				
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)							112,408	74,681	194,068	122,791			306,476	197,471
増減率(%)								▲ 33.6		▲ 36.7				▲ 35.6
合計														
使用量	903,620.0	823,152.0	2,594,264.0	2,386,542.0	27,001.0	12,078.0	121,400.0	130,073.0	91,746.0	75,536.0	14,826,666.0	14,882,946.0		
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	2,250	2,050	7,030	6,468	81	36	313	336	213	175	10,201	8,945	20,088	18,009
増減率(%)		▲ 8.9		▲ 8.0		▲ 55.3		7.1		▲ 17.7		▲ 12.3		▲ 10.4

■令和3年度 稚内市地球温暖化防止実行計画 全課取組状況

	取組項目	達成度	前年度
1	パソコン(PC)の省電力モードを設定する。(推奨時間 ディスプレイの電源を切る10分 スリープ状態にする20分)	89.5 %	91.7 %
2	離席時はPCのモニタを切る。長時間にわたって離席するときは、スリープ状態または主電源を切る。	82.9 %	80.6 %
3	電気製品(コピー機、プリンター、電気ポットなど)は、退庁時や休日等職員が出勤しない時は、待機電力状態にせず主電源を切る。支障のない範囲でコンセントを抜き待機電力を削減する。	82.9 %	84.7 %
4	コピー機の省電力(余熱)モードのある機種については、設定時間などを確認し、使いやすく無駄のないように設定する。	88.2 %	87.5 %
5	エレベーターを使わず、階段を利用する。(重い物や大きな荷物を運搬する場合や健康上の理由を除く)	94.1 %	95.8 %
6	昼休み、業務時間外については必要な部分以外は消灯する。	92.1 %	94.4 %
7	廊下等業務に支障のない場所は間引き消灯を行うなど、節電に努める。	100.0 %	97.2 %
8	冬期(11月1日～3月31日)は、暖房温度を20℃に設定し、セーターやベスト着用など暖かい服装に努める。	93.4 %	93.1 %
9	暖房稼働時は、窓・出入り口は開放しない。	90.8 %	73.6 %
10	給湯機は温度設定をこまめに調整する。(電気ポットへの給湯は最高温度に設定、その他の使用は最低温度に設定する)	86.8 %	88.9 %
11	公用車の運転時には、アイドリングストップを徹底し、急発進・急加速はしない。	96.1 %	95.8 %
12	近くへ出かける際は、できるかぎり徒歩で移動する。	90.8 %	88.9 %
13	加減速の少ない定速走行及び早めのアクセルオフを心がける。	97.4 %	97.2 %
14	カーエアコンの冷暖房は最小限にとどめる。	92.1 %	93.1 %
15	両面印刷(コピー)、割付印刷(コピー)や裏紙利用を徹底し、紙使用量を削減する。	96.1 %	94.4 %
16	コピー機の利用後は、リセットボタンを押す。(次の人のミスコピー防止)	89.5 %	87.5 %
17	PCからの印刷は、不要な印刷をしないようプレビューで確認してから印刷する。	97.4 %	97.2 %
18	コピー・プリンター用紙は、原則としてすべて再生紙(古紙配合率70%以上、白色度70%以下とする)	69.7 %	66.7 %
19	会議資料はページ数や部数を必要最小限とする。	97.4 %	98.6 %
20	シュレッダーは機密を要する文書の廃棄の場合のみに使用し、それ以外の用紙は裏紙として活用する	96.1 %	100.0 %
21	メモ用紙、軽易な文書、手持ち資料などは片面使用済み用紙の使用を徹底する。	96.1 %	95.8 %
22	封筒をはじめ、冊子・パンフレット・ポスター・報告書などの印刷物について、古紙や非木材紙配合率の高い再生紙を指定するとともに、古紙配合率等を明記する。	68.9 %	58.3 %
23	一般事務用品は、エコマークやグリーンマークなどが表示された環境負荷の少ない製品を購入する。	69.7 %	75.0 %
24	商品購入時には、包装や容器を省いたものを購入するなど工夫し、ごみの削減に努める(簡易包装、簡易容器、リターナブル容器使用、使い捨て容器の削減等)	84.2 %	79.2 %
25	コピー機、プリンターのトナーカートリッジについて、業者による回収(リサイクル)を徹底する。	100.0 %	98.6 %
26	プラスチック類や紙類の資源化や分別を徹底し、ごみの排出量の削減を図る。	97.4 %	95.8 %
27	水を出しっぱなしにして洗わない	98.7 %	98.6 %
28	石鹼・洗剤の使用量を控える	96.1 %	97.2 %

■年度別 ノーマイカーデー実施結果の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
実施回数 (回)	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
実施率 (%)	48.3	56.9	53.6	52.4	45.8	51.9	45.9	40.0	32.0	32.7
CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	7,722.8	10,462.3	8,814.1	8,246.2	6,987.8	7,750.7	6,531.3	5,178.2	3,775.1	3,942.1
月平均CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	643.6	871.9	734.5	687.2	582.3	645.9	544.3	431.5	314.6	328.5

※24年度は毎月第4金曜日実施に戻す

※25年度以降は実施日を設定せずに毎月1回実施

